

非常変災に備えて

船橋二和高校・保健環境部

【強度の地震発生時】身に危険を感じる程度の強い地震（揺れ）が発生した場合

- (1) 頭部保護を心掛ける。(頭から背中にかけてのけがは致命傷となる可能性が高いため第一に考える。)
 - ①教室…直ちに机の下に身をひそめ、ガラスや蛍光灯等の落下物から身を守る。
 - ②廊下…ロッカー・高窓等から離れ、持っているものがあればそれで頭部を保護する。
- (2) 調理実習中、理科の実験中、ストーブ使用中等で火気を使用している場合は直ちに消す。
- (3) 避難口確保のため、戸口は開けておく。
- (4) 2階以上の高い場所にいる場合は、窓や階段等からの転落に気をつける。
- (5) 放送が入った場合はその指示に従って行動・避難する。それがない場合は、指導者の指示に従う。

避難の基本は「お・か・し・も・き」です。(「押さない」、「駆けない」、「しゃべらない」、
「戻らない」、「危険な箇所に近づかない」)

【火災発生時】

- (1) 火災報知器、校内放送、大声での連呼等により速やかに多数の者に知らせる。
- (2) 消火活動の目安は以下の通りとする。ただし安全第一とし、決して無理はしないこと。
 - ①火が小さい場合は、付近の消化器、消火栓、バケツの水等を利用して消火に当たる。(初期消火)
 - ②火が大きくなって消火が不可能となった場合や身に危険を感じる場合は、速やかに避難する。
- (3) 消火及び避難誘導等は当該時の教員が指揮をとり、避難経路・非常口等を利用して迅速かつ適切に行い、混雑による事故（二次的災害）が発生しないよう努める。
- (4) 放送による指示があれば、それに従う。
- (5) 階段を利用して避難できない場合は、使用上の注意に従って救助袋を使用する。
《斜行式》普通教室等 3階 2年A組教室 4階 1年A組
- (6) 避難する際、一番後ろの者は自分の安全を確保しながら、残留者がいないことをできるだけ確認する。

【人員確認】＊担任不在の場合は（指導者・学年職員）

- (1) 避難場所は、その時の天候や風向き（火災時の煙や延焼の方向）を考えた上、グランド等の適切な場所を選び、人員点呼しやすいように、できるだけクラス毎に、出席番号順に並ぶこと。
- (2) ルーム長は自分のクラスの人員を点呼確認し、行方不明者がいないか確認し担任に申し出る。
(担任は点呼確認の結果を学年主任を通じて本部に届け出る。)
- (3) 負傷者がいる場合は直ちに担任に状況を伝える。(養護教諭と連携し、場合により救急車対応等する)
- (4) 生徒は以下のことを心掛け、徹底すること。

- ①自分勝手な行動や私語を慎む。
- ②指示があるまではその場を離れない。どうしても離れざるをえない場合は必ず担任に申し出る。
- ③混乱を招くような、根拠のない噂やデマをばらまかない。

大規模地震の具体的対応

船橋二和高校・保健環境部

【登校または下校途中】 *地震は通常長くても1分程度です。落ち着いた行動を心掛けよう！

- (1) 徒歩及び自転車通学中の生徒は倒壊・落下・感電・交通事故等に注意しながら安全な場所に避難し、地震がおさまった後に帰宅する。
- (2) 交通機関を利用中の生徒は、乗務員、駅員等の指示に従って行動する。復旧の見込みがない時は、安全に気をつけ原則徒歩で帰宅。ただし、学校の方が近くて安全な場合は登校し、学校の指示に従う。

【在校中】

●学校は、県からの連絡はもちろん、テレビ・ラジオ等あらゆる情報ツールから近隣の状況（火災・津波・交通情報等）を把握し的確な行動を指示します。生徒は基本的には以下のような流れで行動する。

- (1) 徒歩及び自転車通学の生徒は、安全が確認されてから帰宅する。
- (2) 各種交通機関を利用する生徒は、復旧が確認されるまで学校で待機し、復旧後安全に留意して帰宅する。
- (3) 復旧が長引くことが判明した場合は

①徒歩で帰宅可能な生徒は帰宅する。

*ただし、帰宅可能の判断は慎重に行う。帰宅に際しては、2人以上の集団での下校を原則とする。

②徒歩での帰宅が困難または不可能な生徒は以下のようにする。

a) 家族等の迎えがある場合は、それまで待機する。

*この際、生徒は迎えの者が誰であるのかを担当に届けた上で帰宅する。

b) 近くに親戚がいる場合は、生徒は可能な限り連絡を取り、そこに行くようにする。

*この際にも、生徒は親戚の住所、氏名、電話番号等を必ず担任に届ける。

c) その他の場合は学校の指示に従う。

- (4) ①災害用伝言ダイヤル（NTT）②災害用ブロードバンド（web171）を利用する。

①について…ダイヤル171（忘れてイナイ）→利用ガイダンスに従って、録音、再生をする。

*体験利用提供日（毎月1日・15日、正月三が日、防災週間8/30～9/5等）に実際に体験しておこう。

*災害時は携帯電話より、公衆電話の方がつながりやすい。

②について…NTTのネット上に利用のし方、使い方等が出ています。こちらも是非確認しておきましょう。

- (5) 携帯電話のメール機能による災害伝言版サービス（携帯電話各社）を利用する。

*災害時は電話はつながりにくくなるので、メール機能がよいとされる。

*携帯電話各社の画面から、「災害用伝言板」を選択し、順次選択しながら進めて行く。

《保護者の皆様へのお願い》

非常変災時、火災時等には、学校はこのプリントにあるような対応を基本に、お子様の安全を第一に考えて臨機応変に対応して参ります。各ご家庭におかれましては、このプリントの内容も含めて、家族の避難場所の確認や防災についてのお話を是非ともなさってみてください。よろしく願いいたします。何かございましたら、下記までご連絡ください。

【連絡先】船橋二和高等学校【電話】047-447-4377 【担当】教頭または保健環境部長まで